



ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Office of GOVERNOR of DISTRICT No. 60

MASAKAZU KOBAYASHI

Naigai Animono Kaisha Ltd.

No. 3 Ginza Nishi 5-chome Chuo-ku Tokyo, Japan



No. 13

昭和廿八年六月十八日（第十二信）

国際ロータリー第六〇区

ガバナー 小林 雅一

第六〇区

ロータリー倶楽部

会長 並 幹事 殿

梅雨の季節にて毎日鬱陶敷打柄、各位には益々御元氣にて、御活動の御事と御慶び申し上げます。

さて吾々のロータリーの年も、愈々あと旬日を以て終ります。思へば長い一年の様に感じましたが、経つて見れば早いものです。

この一年間に日本のロータリー運動は大いに発展しましたことは、偏に各位が夫々のクラブに対し、力強い指導者として、御骨折下さった賜であると確信し、その御協力に対し衷心から感謝申し上げますと同時に、今後ロータリー運動が、益々強化され、日本全土に拡大される様御尽力下さることを切に御願申し上げます。

一、巴里大会に就て (PARIS CONVENTION)

第四十四回国際ロータリー大会は豫告通り五月二十四日から二十八日迄巴里で行はれ、大盛況裡に終了しました。

左に大要を御知らせします。

(一) 参加人員 登録数 一〇、一〇七

(二) 参加国及地域 七六

(三) 次期会長は三名の候補者の内投票の結果ウルガイ国モンテビデオのシビリス氏が当選しました。

(四) 定款改正並に決議案を

原案通り可決

修正の上可決

撤回

理事会に於て研究すべきものとして撤回

否決

右の如く決まりました。

その内特に吾々の関心を以て居りました、第五三一七号は提出クラブより自発的に撤回した由です。

又ロンドンR.C.提出の第五三一七号は投票の結果賛成一、四〇〇反対一、七〇〇にて否決となつた由であります。

この大会で巴里の街はロータリーヤンの歓迎に非常な好意を示し、色々な便宜を与へ、ルーブル美術館の如きは特に夜間ロータリーヤンに開放して参観の便に供し、又ベルサイユ宮殿の庭園に於ては、有名な噴水の水を出して、仕掛花火を揚げて一二、〇〇〇人の来会者を優待したのであります。

☆尙手島理事よりの通信に依れば当大会に於てブルニャー会長はそのキーノート・スピーチである「世界に於けるロータリーの現状」の内で特に日本のことに言及し左の如き演説をなし、出席日本人全部の感激の的であつた由であります。

" Finally, let me mention just one other country - Japan - where the growth of Rotary has been phenomenal. Those men who, even before the war, found it necessary to sever their ties with Rotary are now most appreciative of having the fellowship of Rotary again. They are working diligently to extend Rotary as much as possible, for they believe that it will be a big influence in rebuilding their country as a member of the friendly family of nations. "

二、太平洋地域ロータリー大会に就て

(PACIFIC REGIONAL ROTARY CONFERENCE)

近着の本部よりの報告に依れば戦後最初の太平洋地域ロータリー大会は千九百五十六年に濠洲シドニー市と決定したとの事です。

三、手島理事御夫妻並に宮脇新ガバナー消息

(R. I. DIRECTOR & MRS. TESHIMA, AND GOV.-ELECT MIYAWAKI)

○ 手島理事御夫妻は巴里大会後、英国、スイスを廻りて、再び巴里に於ける理事会に出席の上、六月二十五日羽田空港に帰着の御予定であります。御両所共至極御元気の御様子であります。永い間御苦勞様でした。嗚かし御疲れのことと御察し申上げ、厚く感謝致します。

○ 宮脇新ガバナーも巴里大会出席後欧羅巴諸国を廻り、六月二十七日に羽田へ御帰りの御予定であります。遠路誠に御苦勞の程深く感謝致しますと共に、来るべき一年間の御指導をよろしく御願致します。

因に宮脇新ガバナーの事務所は

札幌市グランドホテル内

国際ロータリー第六〇区

ガバナリー事務所

であります。

四、新R.O.の結成に就て (EXTENSION OF ROTARY)

昨年七月以来本年五月迄に当地区としては、柏崎、会津若松、清水、北見、足利、秋田、桐生の七クラブの承認を得た訳であります。五月二十八日に青森、六月五日津島、六月十日日立、六月十二日木更津の四クラブの結成を見、目下加盟申込中であります。

尙六月十八日に福島県平市に結成の予定でありまして結局本年度に十二の新クラブが増加され合計五六クラブとなる訳で誠に此の発展には御同慶に堪へません。

一方第六一地区は之にも増して過去十一ヶ月間に、既に十七クラブの承認を受けて居り、合計四八クラブとなつて居る様な盛況であります。

青森の承認を以て日本に於て第百番目のクラブが出来た訳で、吾々永年の願望であつた、日本内地に一〇〇クラブを作る事は達せられ、尙其の後次々と出現し六月末迄には百五か百六位になることと思ひます。而して会員の総数も四、〇〇〇を超すこととなりましょう。

誠に驚くべき勢で拡大強化されて行く訳であり、喜びに堪へぬところであります。

乍然それと同時に吾々ロータリアンの責任も益々重加して来る訳であります。即ち吾々日常口に称へる奉仕の精神を実行に現はし、一般市民にロータリー運動を実例を以て見させる必要があると思ひます。職業奉仕や、社会奉仕の方面に大いに活潑に運動を起す

様各位の御指導を切に御願ひ致します。

五、米山フアンドに就て (YONEYAMA FOUNDS)

東京R・C・では豫て計畫中でありました、国際奉仕の一事業として、吾が国ロータリーの生みの親とも云ふべき、故米山梅吉先達の御遺徳を永く讃へるため、下記の様な趣旨に依つて、愈々実行することに決定、先日来資金募集に着手中のところ、既に豫定の半額以上に達した由でありまして、近々豫定額を突破することと思ひます。

斯る事業は所謂永続性のあるものでなければ、余り意義が無い訳であります、始めてのことでもあり、且つ東京R・C・の古沢会長始め理事各位の慎重なる考慮に依り今回は差向き、東京R・C・丈の試みとして、二ヶ年を区切つて実行し、その結果を見て、これを永続的の事業とし、而かも日本のR・C・全体に呼び掛けその賛成を得て、大に範圍を広め様として居るのであります。私は東京R・C・がこの最も有意義の事業に進んで手や着けられた、英断に對し深く敬意を表して居るものでありまして、是非この企てが成功し、将来益々拡大して行き、国際親善、世界平和に大なる寄与をなす事が出来る様禱るものであります。

米山記念奨学金規定(要旨)

(一)(目的) 日本に於けるロータリークラブの創設者米山梅吉氏の功績を記念する為、同氏の遺志を繼いで、亜細亜地域のR・C・所在国より本奨学金を以て、優秀なる学徒を、日本に招致して学問、技術を研鑽せしめ、以て亜細亜諸国の文化に貢献し之等の諸国と親善なる關係を結ぶことに在る。

(二)(募集の方法) 東京R・C・会員有志より一口二千圓以上、之と併せて会員の主宰する法人又は団体より一口貳萬圓の寄附を

募る。

右寄附の最低目標額は個人寄附四十萬圓、法人団体寄附貳百萬圓合計貳百四十萬圓

尙此の計畫に対し第六〇区、第六一区の諸R・C・にも賛同を求め、寄附の申出ありたる場合には、特別委員会の審議を経て、之を受納することを得る。

(三) (奨学金の支給額) 留学生氏名に対し学費及生活費として各自年額金五十萬圓を貳ヶ年に亘り継続支給し、尙本国より日本迄の往復旅費を支給する。

(四) (留学生の資格) 留学生の日本に於ける研究はポスト・グラデュエート・コースたることを原則とする、

従て本奨学金を受けんとする者は、本国に於て、日本の単科大学に相当する学校を卒業し、且つ日本語、英語又は独乙語のいずれか相当堪能なることの証明を要す。

日本に於ける研究の学問又は技術の種目は医学、工学、理学、化学、其他委員会が適当と認めて、右に加へたものに限る。

(五) (留学生候補者の推薦) 相手国は一応台湾、フィリッピン、印度支那、タイ、ビルマ、印度、パキスタン、とし、右諸国のR・C・の内で委員会の適当と認めたるものを管轄するディストリクト・ガバナーに厳選したる留学生候補者の推薦を依頼する。

(六) (留学生の選定、員数及年限) 前条に依つて推薦せられたる留学候補者を特別委員会に於て銓衡し、東京R・C・理事会と合議の上本奨学金受領者を決定する。

留学生の数は毎期二名とし、貳ヶ年を以て一期とする。

(七) (特別委員会の構成) 省 略

(八) (特別委員会の任務) 省 略

(九) (本制度の将来の機構) 第一期に於ける米山奨学金は東京R・C・の事業であるが、将来諸R・C・の協力と外部の後援とに

修り事務の永続の見通しと、相当なる趣意を得たる場合には、
 適當なる方法に依り、関係R・C・の意見を徴して本奨學金制
 度を財団法人に改組することを得る。

六、國際資金に就て (ROTARY FOUNDATION)

釜石	追加	四名分	一四、四〇〇圓
東京	〃	二名分	七、二〇〇圓
門司	〃	一名分	三、六〇〇圓
別府	一〇〇%	三四名分	一二二、四〇〇圓
京都	追加	六名分	二一、六〇〇圓
会津若松	一〇〇%	三五名分	一二六、〇〇〇圓
宇都宮	追加	六名分	二一、六〇〇圓
横須賀	〃	一名分	三、六〇〇圓
松坂	〃	七名分	二五、二〇〇圓
豊岡	一〇〇%	二八名分	一〇〇、八〇〇圓
東京	追加	六名分	二一、六〇〇圓
彦根	一〇〇%	二五名分	九〇、〇〇〇圓
尼崎	追加	二名分	七、二〇〇圓
田辺	一〇〇%	二四名分	八六、四〇〇圓
合計			六五一、六〇〇圓
総合計			一二、九四四、六二〇圓
米貨			三五、九五七、二七仙

訂正、前回大阪四入分一四、四〇〇圓は大垣の誤りに付訂正

七、新R・C・承認

青森ロータリー・クラブ

承認 昭和二十八年六月十五日

会長 山口 義 亮

幹事

竹林 善次郎

事務所

青森市本町一六四

例会場

青森市新町朝日食堂

例会日

毎木曜日 午後〇時半

スポンサー

クラブ 秋田、盛岡、東京

八、会津若松 R. O. のチャーターナイトに就て

CHARTER NIGHT OF AIZU WAKAMATSU R. C.)

会津若松 R. O. のチャーターナイト祝賀会は五月十八日午前十時から予定通り挙行されました。

この日天気は上々真のロータリー日和、参加者約二百二十名の盛会で伝達式は映画館にて型の通り厳肅裡に行はれ、ガバナーより林副会長にチャーターを伝達し、正午閉会、それよりバスにて一同旧鶴ヶ城跡に行き月見台の跡にては「荒城の月」を詩った、土井晩翠翁を偲び、広い競技場のプールの側の緑蔭にて用意の辨当をエンジョーイしたのであります。再びバスを連らねて白虎隊で名高い飯盛山に向ひ、此所では一同白虎隊の少年諸士の墓に詣でその冥福を禱るとともにあの可憐な少年達の純真さに胸を打たれたのであります。其所で若松高橋学生の演じた真剣に依る舞を見た時は真たく当時の模様が偲ばれ、涙を催さずには居られぬ光景でした。

それより物産館で漆器等を參觀し祝賀場である公会場に心尽しの御馳走と、郷土名物の会興を、心行く計り楽しんで、散会したのは六時過ぎでありました。その夜東山温泉では、有名な東山盆踊りをして来客を楽ませて下さったことは、若松の会員諸君が如何に徹底的に来会者を満足させようと勉められたかを想像出来誠に感謝に堪へぬところであります。

翌日は特望の豊碓梯山の行楽と只見川ダム參觀の二団に分れ多数のバスにて、夫々一日を到れり、尽せりの待遇に与り、心惜みな

くエンジンジョーイして、沢山の御土産と若松会員並に御家族の御好意を深く感謝しつつ別れたのであります。

私は会津若松の会員各位が将来も、このチャーターナイトに於て示された、熱意と実行力を以て、ロータリー活動に邁進せられんことを切望するのであります。

九、公式訪問を終りて (GOVERNOR'S OFFICIAL VISITS)

私の各クラブに対する公式訪問も、六月十二日の釜石クラブの訪問を以て第六〇地区五二クラブ中五〇クラブを済ませた訳で、あとは最近出来た青森と、チャーター・ナイトを六月二十三日にやる北見とが残る訳で、事実上完了した様なものです。私自身の仕事や、地理的關係や、其他色々の事情の爲め、最後のどん詰り迄掛りましたことは特に東北方面所在の各クラブに対しては甚だ申訳のないことで平に御詫を申し上げます。

今度の経験から見まして公式訪問は何んど云つても出来れば上半年の内にやる事が、各クラブの爲めには、最も有効であります。地区大会等の爲め、それも容易ではありませんから、氣候は悪くとも成るべく一月から三月頃迄に行へば理想的だと思ひました。来年度の官脇ガバナーにも御参考迄に申し上げます。

向各クラブの内でも多数のクラブはガバナーへ提出する各委員長の報告書を良く揃へて、来着と同時に（或るクラブでは停車場にて）御渡し下さいましたが、少数のクラブでは口頭で報告をなされた様な事もありまして、準備不十分を感じさせられた例もあります。大部分のクラブでは公式訪問後「之れで良く判つたが、もつと普通の会員にも聞かせたかつた」と云われました。御尤もと思ひます。今後はガバナー列席のクラブ・アツセンブリーには普通会員も、出来るだけ出席することが有益と思ひます。

県に角この公式訪問こそ、年に一回ガバナーが会員各位と親しく膝を交へてロータリーを語り合ふ唯一のチャンスであります。出来るだけ多数の会員が出席して、腹臍のない御意見なり、御質問をなされます様切に御勧めします。ガバナー自身にとりましても、此の機会に所謂グラスルーツ（一般会員）の輿論なり意見を聞き、参考にし又必要なれば本部へ申送る資料にもなるのであります。私の経験では、公式訪問こそは、各クラブに取りても又ガバナーとしても一番肝要な行事であると同時に最も楽しい会合であると思ひます。少なくとも私自身は、多数の会員と御会ひする機会を得た丈けでも、大なる喜びと感謝に溢れて居ります。

十、六月分の出席率報告先

(WHERE TO SEND REPORT OF JUNE ATTENDANCE)

六月分の出席率を報告さるる七月には、既に宮脇ガバナーの時代になつて居る訳であります。従来よりの慣習上、六月分の報告をその当時のガバナーが纏めることになつて居りますから、今回も私の方で纏めます。

即ち六月分を今迄通り私の方へ報告書を御送り下さい。尚今回は出来るだけ早く切上げ度いのでありますから、七月十日迄に必着する様是非御協力願ひます。

十一、五月中出席率

(ATTENDANCE IN MAY)

順位	クラブ名	例会数	会員数	平均出席率	四月中順位
(1)	千葉	四	二九	九九・二	(2)
(2)	浜松	三	三九	九五・〇	(8)
(3)	東京北	四	四九	九四・四	(4)
(4)	横須賀	五	二九	九三・八	(24)
(5)	川崎	四	三三	九三・〇	(9)
(6)	横浜	三	七一	九二・五	(14)
(7)	岐阜	五	三八	九二・一	(7)
(8)	豊橋	四	三八	九一・九	(18)
(9)	山形	四	三八	九一・八	(42)
(10)	小樽	三	五二	九一・七	(5)
(11)	岡崎	四	三〇	九一・七	(3)
(12)	水戸	三	三二	九一・六	(28)
(13)	札幌	四	七六	九一・五	(10)
(14)	沼津	五	三九	九一・四	(6)
(15)	仙台	三	五八	九〇・八	(32)
(16)	釧路	四	四〇	九〇・五	(1)
(17)	柏崎	四	二一	九〇・五	(37)
(18)	川越	三	三〇	九〇・〇	(30)
(19)	高岡	四	三二	八九・七	(19)
(20)	長岡	四	三一	八九・五	(12)
(21)	四日市	四	三二	八九・一	(13)
(22)	福島	四	三六	八八・九	(34)
(23)	新潟	三	五四	八八・三	(22)
(24)	松阪	四	三二	八六・八	(20)
(25)	旭川	五	三七	八六・六	(39)
(26)	会津若松	四	三五	八六・六	(44)

(51) (50) (49) (48) (47) (46) (45) (44) (43) (42) (41) (40) (39) (38) (37) (36) (35) (34) (33) (32) (31) (30) (29) (28) (27)

北見	金沢	宇都宮	盛岡	半田	室蘭	桐生	清水	釜石	富山	甲府	郡山	秋田	東京南	宇治山田	塩釜	東京	函館	静岡	大垣	一宮	津	名古屋	足利	帯広
四	四	五	四	四	四	四	三	三	四	四	五	四	三	三	五	四	四	四	四	五	五	三	四	四
二九	四六	三〇	三五	二七	三五	二〇	三二	二四	三四	三一	二八	三五	五五	二八	二七	二三	四七	四一	三二	二八	三五	九三	三一	三八
六九・〇	七一・七	七二・〇	七三・六	七五・〇	七五・〇	七六・〇	七七・一	七七・八	七八・〇	七八・二	七八・五	七九・二	八一・一	八二・〇	八二・二	八二・九	八四・〇	八四・一	八四・三	八五・〇	八五・一	八五・四	八六・一	八六・一

五十一クラブ五月平均出席率 八五・七%

以

(23) (49) (41) (50) (47) (43) (33) (33) (15) (45) (51) (33) (27) (43) (29) (17) (31) (26) (43) (25) (11) (21) (35) (16) (40)